

令和8年度 第1回飯田市社会福祉審議会こども若者分科会（飯田市版子ども・子育て会議）

令和8年度 第1回次世代育成支援対策地域協議会

日時：令和8年6月30日 18:00～20:05

会場：橋南公民館 第1・2会議室

出席者（委員）：原会長、小池副会長、宮澤副会長、何原委員、伊藤委員、宇佐美委員、小川委員、黒河内委員、小西委員、櫻井委員、澤田委員、塩沢委員、島岡委員、神藤委員、田中委員、西村委員、林田委員、藤岡委員、堀委員、松村委員、壬生委員

（事務局）：山崎こども未来健康部長、筒井こども課長、塩澤保育家庭課長、岩橋保育家庭課保育人材担当専門幹、片桐健康づくり推進室長、福沢福祉課長、植松こども課子育て支援係長、久保田こども課こども相談係長、北沢こども課発達支援係長、三石こども発達センターひまわり所長、小笠原こども課発達相談担当専門技査、熊谷保育家庭課長補佐兼施設管理係長、飯島保育家庭課長補佐兼家庭相談係長、熊谷保育家庭課保育係長、大島健康づくり推進室長補佐兼保健指導係長、福澤健康づくり推進室長補佐兼母子保健係長、木下学校教育課児童クラブ係長

（司会）：植松こども課子育て支援係長

欠席者：下平委員、永井委員、伊藤学校教育課長

1 開会

2 こども若者分科会長あいさつ

皆さん改めましてこんにちは、原でございます。よろしくお願いいたします。本日はお仕事が終わってお疲れのところ、この会議に出席していただきまして誠にありがとうございます。

最近の話題はサッカーのワールドカップですが、日本の選手が世界の檜舞台で非常に活躍している姿を見て、以前とは様相が変わり、若者が世界に出て大活躍しているなとつくづく感じ、感動いたしました。大リーグでの大谷選手をはじめとする活躍も同様です。当分科会も、そういう若者を今後サポートし、飯田からも世界に羽ばたくような人材が出てもらえれば本当に嬉しいことだと思いますし、より良い会にしていきたいと考えております。

話は変わりますが、少し前に天龍村の平岡で大変痛ましい事件がございました。おそらく老老介護の末に行き詰まってしまった結果ではないかと見ておりますが、なぜもっと周りの家族や隣人、小さなコミュニティの中で悲劇が起こる前に止められなかったのか、本当に愕然といたしました。私は社会福祉協議会に出ておりますが、地域福祉の向上として、こうしたトラブルを表面化させずに支援することが社協の役割であるにもかかわらず、身近な所で防げなかったことに悔しさを感じています。

こどもの虐待などについては児童相談所などの組織が機能していますが、それ以外の家庭内のトラブルが防げず最悪の事態が生じていることは、地域の「福祉力」が低下しているのではないかという気がいたします。当分科会はこども若者を対象としておりますが、家庭内のトラブルや子育ての困りごとに対し、本日お集まりの保育所の先生方をはじめとする皆様が少しでもサポートを施し、家庭内の不和を和らげる一助となれば、地域が平和に暮らしていけるのではないかと思います。本日はどうぞよろし

くお願いいたします。

3 任命書の交付

各委員への任命書交付（机上交付）

4 こども未来健康部長あいさつ

改めましてこんにちは。飯田市のこども未来健康部長の山崎でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。日頃から飯田市の子育て政策、また社会福祉の推進にご協力いただいておりますことを感謝申し上げます。

今年度第1回目の分科会となりますが、選出母体の委員任期などの関係もあり、今回10名の皆様が交代されております。新しく委員になられた皆様、どうぞよろしくお願いいたします。協議時間を十分に確保するため、任命書は机上交付とさせていただきます。

また、昨年度から当分科会には若者枠を設けております。3月に2名の学生さんが退任されましたが、今回新たに3名の若者・学生の皆様に参加していただくこととなりました。若い皆様の瑞々しい感性や生の声を聞き、これからの政策に反映させたいと考えております。委員の皆様におかれましても、どうか温かく迎えていただきますようお願いいたします。

また、当分科会は、こども若者まんなか社会を目指すため、この4月から名称を児童福祉分科会から、こども若者分科会へと変更いたしました。

今年度は市役所の組織改編もございました。保健課から健康推進係・母子保健係・保健指導係の3係を独立発展させ、健康づくり推進室を新設いたしました。さらに、全国的な課題である保育士確保に対応するため、保育家庭課に保育人材担当専門幹を配置いたしました。これにより、こども未来健康部は従来の3課体制から3課1室（課長級5名）へと強化し、全市民の健康と若者・こどもを包括的に支える体制を整えております。

その他、市民の皆さんから要望をいただいております、思いきり遊ぶ親子交流施設の市民会議を立ち上げ、今月から議論を開始しております。今年度中には基本構想を策定する予定です。本日の協議では、7年度の実績報告や小規模保育事業所の認可検討などについてご協議いただきます。皆様の専門的な知見や現場の率直な声をぜひお聞かせください。よろしくお願いいたします。

5 会議にかかる概要と確認

(1) 飯田市社会福祉審議会条例の確認

ア 会議等の公開について

イ 審議会委員個人の情報公開について

（植松こども課子育て支援係長より説明）

(2) 委員自己紹介

(3) 事務局自己紹介

6 本部会日程

次回本部会は8月7日（金）を予定（詳細は別途通知）

7 協議事項

(1) 令和7年度飯田市こども若者まんなかプラン実施状況及び評価について

(植松こども課子育て支援係長より資料No.1の説明)

意見質問事項

A 委員	4 ページ目の一番上の結婚新生活支援事業について、申請件数 69 件のうち「市の独自制度」の内容について教えてほしい。
事務局	国の補助要件（夫婦共に 39 歳以下、合計所得 500 万円以内）に対し、飯田市では令和 6 年度から所得制限を撤廃しました。合計所得 500 万円を超える世帯に対しても、市の独自事業として住宅費用に対し 10 万円の補助を行うもので、その数字が計上されています。
A 委員	所得制限を超えた世帯へ 10 万円が出るということですね。
事務局	はい、そのとおりです。
B 委員	2 ページ目の一番下「人間関係作り支援事業」の「不登校重点校」について。市内での設置数や、小学校・中学校どちらにあるのか。また、1 校で良好な結果が出ているなら今後広げていく可能性があるのか教えてほしい。
事務局	本日、学校教育課が出席しておりませんので、後日確認の上、改めて回答させていただきます。（確認結果について、各委員へ文書にて回答送付済み）
C 委員	他にいかがでしょうか。新たに委員になられた方も、分からない点や感想などがあればぜひお聞かせください。たくさん取り組まれているので近場のところだけでも結構です。
D 委員	こんなにも多くの若者やこどもに対する施策が行われていることを全く知りませんでした。これほど充実しているのであれば、当事者である若者やこどもたちがもっと知ること、で、「将来も飯田市で生きていきたい、ここで子育てをしたい」と思える若者が増えると感じました。ぜひ若者に知ってほしいです。
C 委員	ありがとうございました。プラン策定時にも話が出ましたが、これだけの取り組みが市民に知られていないという現状は絶対にあります。子育て中の世代はある程度把握していても、卒業した世代や祖父母世代はほとんど知りません。より多くの世代に理解してもらう必要があります。 今年度の評価結果のまとめとして、令和 7 年度の実施状況評価は、全体として良好、概ね良好に実施されていると評価する。基本理念である『ここで育って、ここで育ててよかったと感じられるまちづくり』の実現に向け、取り組みを引き続き強力に推進されたい、という締めくくりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。

(2) 令和7年度飯田市こども家庭センターの相談等対応状況について

(久保田こども課こども相談係長より資料No.2の説明)

意見質問事項

C 委員	虐待相談の件数がこれほど多いという現実には驚いているが、これが現実なのか。
事務局	年によって若干の変動はありますが、会長が仰ったとおり、外からは見えにくい家庭の中のトラブルや虐待は地域の中に確実に存在しています。
C 委員	家庭内の暴力は見えにくく、数字で見ると本当にびっくりします。今後は起こった後のフォローだけでなく、未然に防ぐための教育や親御さんへの支援・教育が重要になると考えます。本件は以上といたします。

(3) 地域型保育事業（小規模保育事業）の認可の検討について

（熊谷保育家庭課保育係長より資料№.3 の説明）

意見質問事項

E 委員	人材確保の面で職員の配置が大丈夫かどうかという点が一番の懸念だが、課題を踏まえた上で対策が講じられているのであれば問題ないと考えます。
F 委員	私は介護施設で働いていますが、若い職員が出産・育休（1 年等）を経て、その後の両立が難しく離職してしまうケースを多く見てきました。こうした施設内に安心して預けられる環境があることは、保護者の安心だけでなく、介護施設側の人材確保・定着にも繋がる良い取り組みだと感じました。
G 委員	人材確保や運営の課題は、今回の申請園に限らずすべての園が抱えている共通の課題です。利用者にとって選択肢が増えることは非常に良いことであり、経営母体もすでに 3 園の運営実績がある安定した法人であるため、安心感があると考えます。いただいた意見を踏まえ、第 2 回の分科会に向けて事務局で検討を進めてください。

8 その他

9 次回開催予定

日時：令和 8 年秋頃を予定

10 閉会